

あとがき

本稿の締め切りにせまられて Mac を立ち上げようとしたとたんにクラッシュした。何度再立ち上げをしても同じ場所で爆弾の警告が出て先にすまない。パニックとなる。日頃いかにパソコンに深く依存しているかが如実となる。幸い、助けを求めた知人が電車で駆けつけ、半日かけて修復してくれたが、もしその人が一週間の出張に出ってしまった後だったら、危ないところだった。自分で修復できないのも情けないが、毎日毎日の当たり前前の仕事が、たとえば機能拡張ファイルの 1 ビット、1 ビットの健全性に依存しているわけで、考えようでは恐ろしいことだ。先端的な技術の宿命ともいえるが、被害を最小限にとどめるには、ユーザーが不測の事態に備えて怠りなくバックアップを取るなどの手段を常に講じておくしかない。

吉田 正

yos@ph.ns.musashi-tech.ac.jp

核データニュース編集委員会

中川 庸雄 (委員長、原研)、井頭 政之 (東工大)、岩本 修 (原研)、喜多尾憲助 (データ工)、長谷川 明 (原研)、吉田 正 (武蔵工大)

